

## 社会保険庁、ここが許せない

読売新聞夕刊、2004年7月17日

「民間の血を劇的に注入して、ぬるま湯体質から職員を脱却させるしかない」。そう主張するのは、社会保険庁の抜本改革案を自らのホームページで提案している一橋大学教授の高山憲之さんだ。

「人事や給料を柔軟に決められる独立行政法人のような組織にした上で、財界に協力を要請し、幹部全員を優秀な民間人と入れ替えるぐらいのショック療法を断行しなければなりません」そう持論を展開した高山さんは、こう言い切った。

「トップ1人を民間人に代えるだけでは、全く不十分です」